



SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ

2007.2.14 (No.2445)
週報 No. 29

第2560地区ガバナー／中 條 耕 二
会 長／渡 辺 勝 利
会長エレクト／荻根澤 隆雄 (クラブ奉仕A)
副 会 長／中 村 和 彦 (クラブ奉仕B)
幹 事／山 田 富 義
S A A／石 月 良 典
会 計／中 村 和 彦

例会日／毎週水曜日12:30～
例会場及び事務局／
三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内
例会場／TEL 34-3311
事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail : sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
(“はshiftを押しながら“へ”のキーを
押してください)

■本日の出席会員数:66名中46名
■先々週出席率:84.62%

【ゲスト】

・三条警察交通課長 樋口 誠 様

【先週のメークアップ】

[2.8] 燕RCへ

・菊池 涉さん、加藤紋次郎さん、
・五十嵐晋三さん



「率先しよう」

2006～2007年度国際ロータリーのテーマ



サイネリア

会長挨拶

渡辺勝利 会長



今日は三条警察署から樋口交通課長様に卓話をして頂けるとのことでおいでをいただいております。どうぞ宜しくお願いをいたします。参会費を頂戴いたしましたので逆ですからとお返しをしたのですが一市民としてとのことでしたので、遠慮なくニコニコボックスに入れさせていただきました。どうも有難うございました。また今日のはかねてからお話を申し上げてお

りました新会員の熊倉さんにご出席をいただいております。心から歓迎申し上げます。

今日は先週にも申し上げました生活環境の違いと文化の違いの第2部のお話をさせていただきます。先日、子供夫婦と孫全員で近くの温泉へ行きましたが、オーストラリアの役人をしている娘婿が、水着を着けるのでなければ大浴場に入らないと言って部屋のシャワーで済ませて温泉に入ろうとしなかったことと、浴衣を着るのにズボンと靴下を履いたままでその上から浴衣を着たことや、中国の小学校3年生の孫が盛んに中国が世界一の話をしていたことでした。紙を発明したのは中国が一番、印刷を発明したのも中国が一番…私の子供の頃に教わった話と違うような気もしますが、兎に角、中国は立派な国なのだといかに教え込まれているのだと感じたことでした。

今日の新潟日報の記事に、三条クラブが姉妹提携をした台湾の新竹のことが出ていました。台北市から南西に70キロ程のところにある台湾のシリコンバレーと言われ、700社以上の電子関連企業の集まっている町だが、近年大陸への工場進出が盛んに進められている中であって、台湾独立を支持する経営者は疎外され、一つの中国を認める発言を強要され、受け入れた途端に工場進出の許可が下りたとか、台湾の電子関連企業では100人も技術者が引き抜かれた挙句にスパイに

よって大事な技術情報が盗み出されたとか、同じ言葉・同じ民族なのだからうまくいっていると思っておりましたが、色々問題もあるようです。来月の50周年式典への新竹からの参加者が30名とのこと。有難いような困った話で、限られた会場のスペースの中で担当者は困ったようですが、何とか入れ込むことになったとのこと。関係者の皆様には宜しくお願いいたします。

幹事報告

山田富義 幹事

◎中條ガバナー事務所より

米山奨学期間終了者の歓送会のご案内がとどいております。

とき 3月4日(日) AM11:00～PM 2:30
ところ お、乃

◎高田ローターアクトクラブより

創立35周年記念式典のご案内がとどいております。

とき 4月8日(日) AM10:00～
ところ デュオ・セレッソ
登録料 お一人様 10,000円

ニコニコBOX

三条警察署交通課 樋口 誠様

本日はお招きいただきありがとうございます。よろしくお願ひ致します。

渡辺勝利さん

三条警察樋口課長、今日は卓話ありがとうございます。藤田先輩2/10米寿おめでとうございます。熊倉新会員、ご入会ありがとうございます。

山田富義さん

熊倉博之さん、入会歓迎します。
50周年を成功させるためにスマイルBOXに協力します。

五十嵐昭一さん

藤田説量さんの米寿を記念して。
三条警察署樋口交通課長様の卓話に感謝して。
50周年に協賛して。

荻根澤隆雄さん

2/14バレンタインデー、今日は家でじっと待っています。……又、先日は皆様よりご協力を頂き有難うございました。

藤田紘一さん

確定申告の時期です。皆様お早めに!!

小出子恵出さん

今日はバレンタインデー、愛のこもったチョコが目の中のカゴに入っています。とっても甘くて美味しいです。

50周年を成功させるためにスマイルBOXに協力します。

杉山幸英さん

三条警察署交通課長の樋口誠様を歓迎致します。卓話楽しみにしております。
藤田説量さんより結構な内祝を戴きまして有難うございました。

佐野勝榮さん

新入会員熊倉さんを歓迎致します。ロータリー情報委員会はお陰でフル回転です。

捧 賢一さん

藤田説量さんのお祝いに参加させていただき、楽しい、うれしい会でした。

丸山行彦さん

三条警察交通課長樋口様、卓話ありがとうございます。
熊倉博之さんの入会歓迎します。
50周年に協力して。

斎藤真澄さん、明田川賢一さん、会田二郎さん、石月良典さん、石塚欣司さん、五十嵐寿一さん
樋口交通課長様、本日は卓話ありがとうございます。楽しみにしております。

渋谷健一さん、熊倉昌平さん、石橋育於さん、広岡豊作さん、野水文治さん

藤田先生から立派な内祝を頂きました。
若槻八十彦さん、後藤隆夫さん、松永一義さん、横山 仁さん、日戸平太さん、歸山 肇さん、伊藤寛一さん、金子俊郎さん

50周年を成功させるためにスマイルBOXに協力します。

中村和彦さん

樋口様、ありがとうございます。
都合により早退させていただきます。

2月14日分 ￥ 48,000
今年度累計 ￥1,600,000

卓 話

「安全で住みよい三条市の実現に向けて」

三条警察署 交通課長 樋口 誠 様



今日は、貴重な例会の中でお時間をいただきまして誠にありがとうございます。また、平素、警察の各般に渡りましてご理解とご支援を賜りまして、深く感謝申し上げます。

ところで、今日お話しする内容は、別紙の「平成18年中の交通事故発生状況」という1枚物にしてお配りしてありますものを見ながらお話し申し上げます。

1. 交通事故の発生状況であります。右側の新潟県内では、平成18年は、発生件数、死者数、負傷者数のすべてで平成17年を下回っております。表にはありませんが、これまで死者数の一番多かったのは昭和47年の444人です。これは大変だということで、道路の整備や事故対策、交通安全教育に取り組んできた結果、表のような数字になったものと思っています。

○ 三条署管内					○ 県内				
区分\年別	18年	17年	増減数	増減率	区分\年別	18年	17年	増減数	増減率
発生件数	774	732	42	5.7	発生件数	13,903	14,948	-1,045	-7.0
死者数	8	5	3	60.0	死者数	161	187	-26	-13.9
負傷者数	950	913	37	4.1	負傷者数	17,402	18,784	-1,382	-7.4
区分\年別	14年	15年	16年	17年	18年	5年平均			
三条署	7	9	5	5	8	6.8			
県内	235	190	227	187	161	200			
○ 三条署管内			○ 県内						
	件数	死者		件数	死者				
高齢者事故	197(-7)	5(+2)	高齢者事故	3,753(-45)	92(-11)				
歩行者事故	59(-1)	2(-1)	歩行者事故	1,264(-59)	54(-18)				
自転車事故	130(+12)	2(-1)	自転車事故	1,852(-154)	24(+4)				
高校生事故	48(+14)	0	高校生事故	601(-74)	6(+5)				
二輪車事故	80(+14)	3(+2)	二輪車事故	1,212(-57)	18(-4)				
若者事故	138(+15)	1(+1)	若者事故	2,400(-308)	29(+7)				
交差点事故	342(+28)	5(+2)	交差点事故	6,128(-444)	53(-26)				
カーブ事故	11(-3)	0(-1)	カーブ事故	530(-30)	24(-4)				

そんな中で、左側の三条署管内を見てくださいと、三条署管内ではすべてが増加しています。特に、死者数が、3人増加の8人となっています。これは、昨年の11月までは4件4名と前年並みでしたが、12月の1か月間に4件4名が発生してこのようになったものです。12月の29日には、ひき逃げ事故が発生し、

新聞を賑わしたところ。この12月4件4名は、三条の歴史始まって以来の悪い数字であります。

2. 交通事故の態様ですが、高齢者(お年寄り)の増加が目立っています。県内の交通事故死者161人中92人がお年寄りです。実に57%になります。このお年寄りの事故を減らすことが全体の事故を減らすことにつながる訳ですので、お年寄りが事故に遭わないようにお話をさせていただいたり、夜出かけるとき反射材を配ったりして対策を行っているのですが、実態は減少傾向が見えてきません。

そこで、お年寄りの交通事故対策だけでは駄目なのかなということで、運転者に安全で優しい運転を心掛けてもらうように、今は運転者対策に重点をおいています。運転免許証の更新のときや企業を回っての運転教育のときに、そのお話をさせていただくようにしています。

お年寄りの事故の特徴を申し上げますと、事故は、夕方、道路の右側からの横断中が大変多くなっています。なぜ右側が多いのか。それは、車の性能、運転手やお年寄りの意識に大きくかかっていると思います。車は、左側通行ですから、道の左側を明るく照らすようになっていきます。運転手も、左側に目線がいきってしまう。そこへ、お年寄りが、この距離があれば渡れると考えて右側から渡りますが、昔と比べて歩く速度が衰えている上、道路が広がっていますので、事故に遭うのではないかと考えております。

いま運転者に、対向車がないときはこまめにライトを上向きにしてもらうようお願いしています。ライトの下向きではせいぜい50メートルくらいしか照らしませんが、上向きなら100メートルは照らします。早く歩行者を見つけることと、右側からの横断に注意をすることをお願いしています。

3. 次は飲酒運転ですが、昨年8月福岡で飲酒運転の車が追突して子供さん3人が亡くなり、報道機関で大々的に取り上げられ、大きな社会問題になりました。

その後、飲酒運転は若干減ってきていますが、まだまだなくなりません。今年に入っても1月に三条署管内で、飲酒運転で事故や違反を犯した者が10人ほどいます。

これはどういうことかと申しますと、自分に対する甘えなんですね。飲酒運転は駄目なことは誰でも分かっているのですが、運転代行の待ち時間が待ちきれずに、たいして飲んでいないからとか、近くだから大丈夫だろうということで運転してしまい、悲惨な結果になってしまう。

罰金や行政処分は仕方ないとしても、人身事故を起こしてしまうと、損害賠償を求められることになります。昨年、千葉県で死亡事故による損害賠償の裁判があり、賠償金として3億4千万円の支払いを言い渡されました。3億4千万円を、「はい、分かりました。」と、払える人はそういないと思います。そのために任意保険に入っているとされるかも知れませんが、飲酒運転では、保険会社からの支払いが減額されるのは当然です。飲酒運転のために、莫大

な賠償金を取られる、仕事は無くなるなどで、家族がばらばらになることもあるので、飲酒運転はしてもらいたくない、ということと同時に皆様方から、職場などで飲酒運転をしないよう働きかけていただくために、取えて申し上げました。

4. 先日、ある一冊の本を読みました。それは各界で活躍されている360人の方々が、随想みたいな形で、これまで会社を運営してきたどれだけ苦勞をしてきたかということが書かれているものなのですが、その中である社長さんがこう言っていました。

「意識を変えれば行動が変わる。行動が変われば習慣が変わる。習慣が変われば人格が変わって、最後には運命が変わる。」と書かれていました。

これは、いろいろな場面に使えると思います。例えば、シートベルトの装着で言えば、乱暴な運転をしていた者が、ある時シートベルトを使用すると意識を変え、その行動を続けると、シートベルトをすることが習慣になり、そして安全運転になり、結果的には運命が変わる。自分のことを振り返りながら感銘を受けた言葉でした。

5. 皆様方は、各界でご活躍なされていることと思いますが、これからも皆様方のお力をお借りしながら安全な住み良い三条を目指して頑張りたいと思います。どうもありがとうございました。

<新会員紹介>



氏名	熊倉博之
会社名	(有)住宅仮設工業
役職名	代表取締役
住所	三条市一ノ門1-9-1
家族構成	妻、一男二女、義母
趣味	スキー、ソフトバレー

次週例会 2月28日 卓話 石橋育於会員

次々週例会 3月7日 卓話 小越憲泰会員

